絵地図から地図へ（真上から見て記号で表す）

絵地図と地図では、同じ場所の表し方がどうちがうのだろう



3つの変え方　1 真上から見る　2 どこも同じわりあいで小さくする　3 記号と色で表す

絵地図のよいところ

- 建物の形や色、目じるしの様子がよく分かる
- 見たままに近いので、かきやすく伝わりやすい

地図のよいところ

- 真上から見るので、建物が重ならず、どの場所も見える（1）
- 同じわりあいで小さくしてあるので、広さや道のりをくらべやすい（2）
- 記号と色の意味が決まっていて、だれが見ても同じように読める（3）

※ 模式図。学校のまわりは架空の例。地図記号は国土地理院の図式をもとに形を簡単にした。